

第7次山形県教育振興計画検討委員会 ワーキンググループ

オンライン “7カフェ”

< 第2期実施状況 >

期 日	テーマ
① 12月1日(金)	文化・芸術、身体・スポーツ
② 12月6日(水)	地域・家庭・学校、教員(働き方改革、指導力)
③ 12月8日(金)	イノベーション・起業家教育、グローバル
④ 12月13日(水)	AI・教育DX
⑤ 12月15日(金)	いじめ・不登校、こころ、多様性、地域の国際化
⑥ 12月18日(月)	学力・学び続ける力、自主性・自立性
⑦ 12月26日(火)	インクルーシブ教育・特別支援教育
⑧ 12月20日(水)	藤川委員 デンマーク視察報告会
⑨ 1月16日(火)	東北芸術工科大学 矢部寛明准教授や学生との意見交換会
⑩ 1月25日(木)	横浜創英中学高等学校 本間朋弘副校長との意見交換会

1

1 目的

- 7教振策定に向け、将来を見据えた論点の整理を行うため、検討委員会委員や局内関係者が意見交換を行う十分な時間を確保

2 コンセプト

- 7教振の「目指すもの」「身に付けたい力」「ビジョン」などをカフェのように語り合う、「対話」と「提案」によるグループワーク

3 カフェのルール

- ・ 否定や批判をしない
- ・ 参加者は必ず1回は発言
- ・ データや成功事例等のエビデンスをできるだけ持ち寄って画面共有
- ・ あくまで意見交換の場として機能
- ・ 職名ではなく、対等な関係で「～さん」で呼び合う
- ・ メンバー外の参加や、日程になくても飛び入り参加歓迎、途中参加・退出可
- ・ まずはやってみて、改善しながら展開

4 カフェの共有

- ・ 不参加者や関係者と共有するため、カフェの模様をYoutubeで限定公開

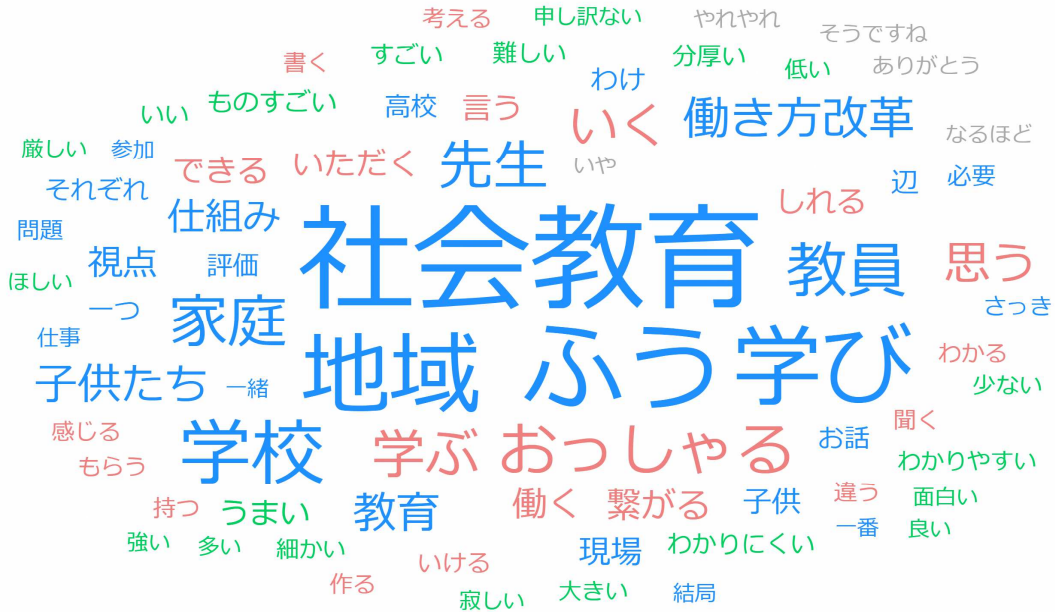
<共有範囲>

- ・ 7教振検討委員
- ・ 7教振WGメンバー
- ・ 7教振検討委員会オブザーバー
- ・ 教育委員
- ・ 教育局幹部

② 地域・家庭・学校、教員（働き方改革、指導力）

- 日時 12月6日(水) 10:00~
- 参加者 三浦委員長、石沢委員、内藤委員
教職員課、生涯教育・学習振興課、福利厚生課、教育センター

- コメントの一部 (ChatGPTで生成したものに追記、整理)
 - ・教員は地域とのコーディネーターとしての役割が重要になってくる
 - ・教員の社会教育に対する理解不足が課題 ・高校のコミュニティスクールの設置率向上が課題
 - ・家庭と学校、地域が連携した新しい場所（サードプレイス）が必要
 - ・学校が地域に開かれていくためには、学校の中に地域を受け入れていく視点が必要



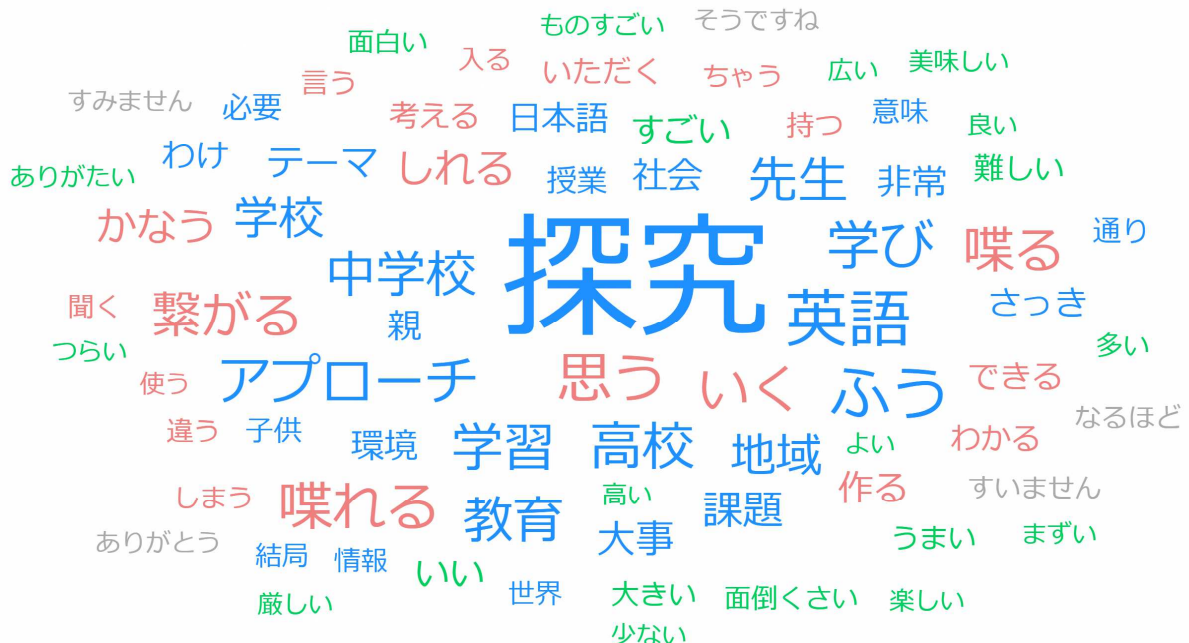
ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

5

③ イノベーション・起業家教育、グローバル

- 日時 12月8日(金) 10:00~
- 参加者 高井委員、高校教育課、義務教育課、生涯教育・学習振興課

- コメントの一部 (ChatGPTで生成したものに追記、整理)
 - ・問い・課題をたて、市場のマーケティングをし、仕事を創っていく訓練の場という視点が探究学習に重要
 - ・地元の産業や企業と連携した探究活動が重要 ・英語を学ぶことを楽しむと伸びる。場・環境が重要
 - ・主体的な学びを通じてこそイノベーションや起業家精神が育まれる



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

6

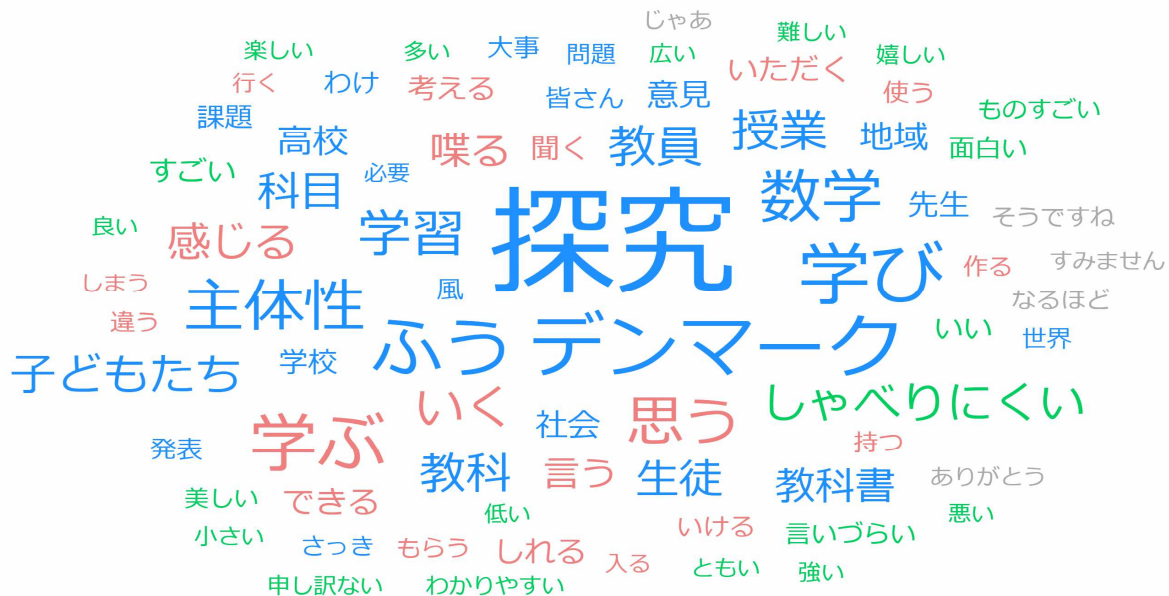
⑥ 学力・学び続ける力、自主性・自立性

○日時 12月18日(月)15:00~

○参加者 三浦委員長、中西委員、高井委員、藤川委員
義務教育課、高校教育課、生涯教育・学習振興課、教育センター

○コメントの一部(ChatGPTで生成したものに追記、整理)

- ・生徒の興味を尊重し学習の楽しさを引き出すことが、自主性・主体性に繋がる
- ・同一年齢だけでなく、異なる年齢層に広げた学びの環境が、多様な実社会で有用な可能性
- ・学校の探究と現実の生活感の乖離がある。デンマークは体感や実感を通じた学びを重視
- ・主体的な学びと地域の持続可能な作り手の育成の繋ぎの難しさ、地域に縛られるところのジレンマ



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

9

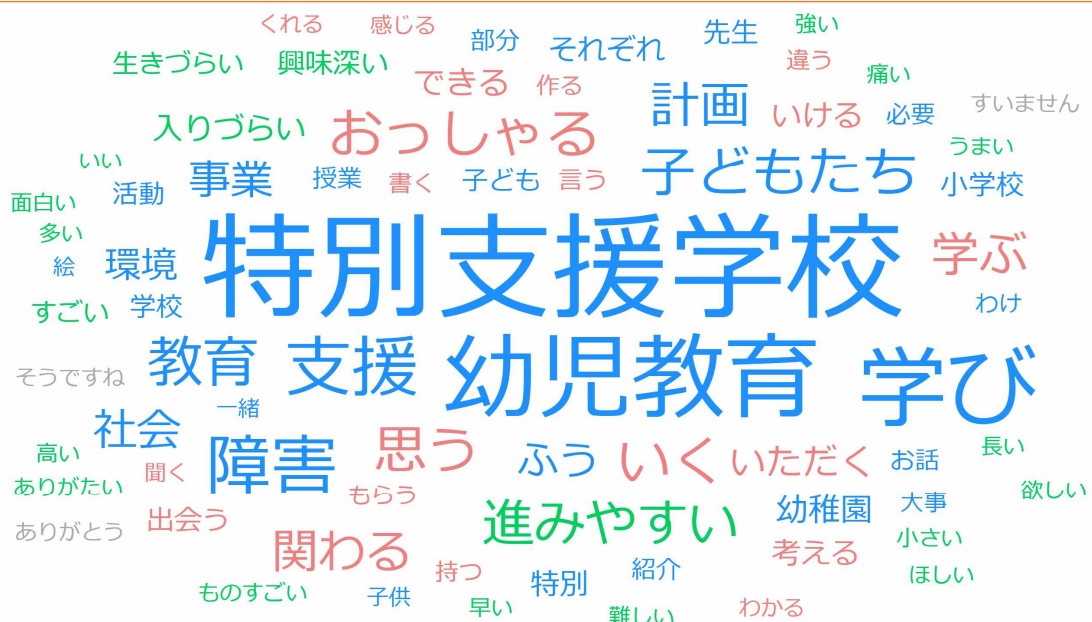
⑦ インクルーシブ教育・特別支援教育

○日時 12月26日(火)13:00~

○参加者 石沢委員、高井委員、澤邊委員、中西委員
特別支援教育課、義務教育課、生涯教育・学習振興課、教育センター、庄内教育事務所

○コメントの一部(ChatGPTで生成したものに追記、整理)

- ・芸術文化活動を通じた交流や自己表現が自己肯定感につながる。学校現場の自由度が大切
- ・幼稚園では子どもたちが自由な環境で遊びを通して学ぶが、小学校は閉じ込められたような環境
- ・障がい者社会モデルの理解促進が重要。・現実には、企業は特性に合わせた対応・受入が必要。
- ・社会に出てから得意分野で活躍できる場をいかに用意できるかが重要



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

10

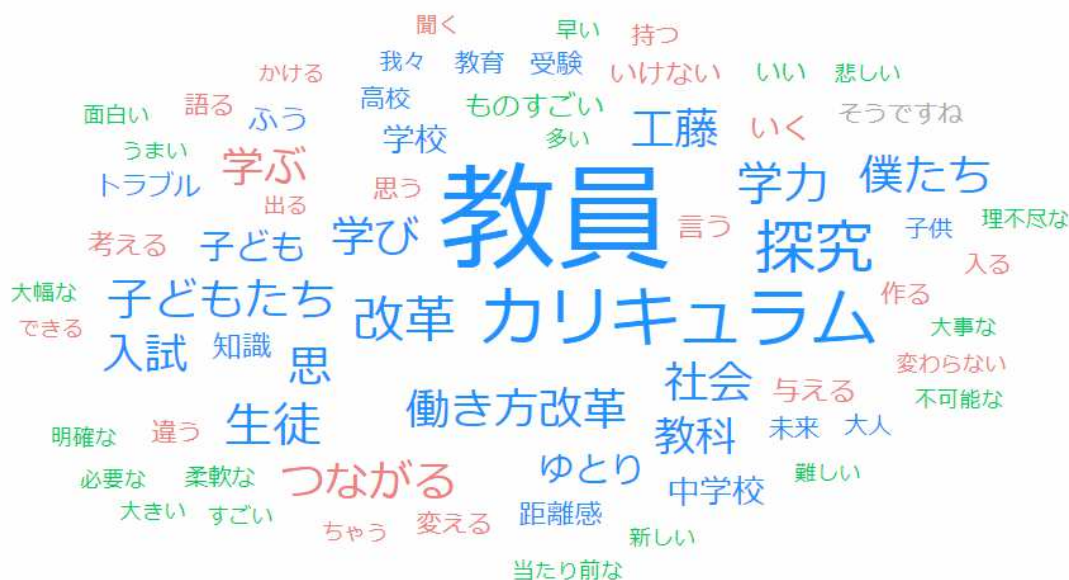
⑩横浜創英中学高等学校 本間朋弘副校長との意見交換会

○日時 1月25日(木)10:00~

○参加者 本間朋弘副校長、石沢委員、高井委員、澤邊委員、村山委員
特別支援教育課、義務教育課、高校教育課、生涯教育・学習振興課、教育センター

○コメントの一部 (ChatGPTで生成したものに追記、整理)

- ・大人が変わらなければ学校は変わらないと同じように、受験が変わらなければ学校は変わらない
- ・教科学力に頼りすぎず、社会で活躍するために必要な経験の場をカリキュラムに落とし込むことが必要
- ・知識はどう使われるかを知ることが重要で、教員が伝達するものではなく子どもが自分で吸収するもの
- ・評価システムと併せて、各教科で探究型の授業形態をどう作っていくかが今後の課題



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

13

御参加いただいた皆様ありがとうございました
今後も行いますので、よろしく願いいたします。

14